

令和5年

6月
June

愛のひだまりの中で心豊かに育つ

子育て支援センター

ひだまりの里

梅雨本番、雨が降ったり晴天になったりと体調を崩しやすいこの時期。やりたいことが思い切り出来ず、モヤモヤすることもあるでしょう。まだまだ多くのお友達に会えなくて、さみしいのですが、雨の日も晴れの日も支援センターは大歓迎です。気軽にあそびに来てください。今月もみんなに会えることを楽しみにしています。

社会福祉法人温和会
理事長 阿嘉よね子
所在地：北谷町吉原716-2
(絆保育園4F)
☎：098-926-3600
098-989-7844
(支援センター直通)



≪「ひだまりの里」利用時間≫
★平日 9:30~15:00
★園庭開放 15:00~16:00
★土曜日 9:00~14:00
(月~金) 13:00~15:00

支援センターの利用の仕方

- 事前予約が必要**です。
予約は電話にて行います。
(予約時間：月~金 9:00~16:00)
- 利用人数の制限**があります。
1日午前5組、午後5組とします。(イベント内容により人数が変わることもあります。又、場合によっては1家族当りの利用回数を制限する事があります。)
*キャンセルや変更の連絡は早めをお願いします。
- 利用時間**
午前 9:30~11:30 午後13:00~15:00です。
昼食時間はありません。施設内で物を食べることは原則出来ません。
水分補給は可能ですので、ご自身でご準備下さい。(麦茶の設置はありません)
*利用時間前後に、清掃・消毒を行います。
- 来所時の、マスク着用**は保護者の判断に任せます。
- 利用時に、健康チェック他**を行います。
利用者は全員、検温を行います。簡単な問診チェックもお願いします。
予約の際に電話にて確認を行います。
- 入退室時には、手指消毒**をお願いします。
- 外階段をご利用**ください。エレベーターもございます。
お電話にてお問合せください。

*すべての方が **安心 安全に過ごす為**にご協力をお願いします。

父の日制作 6/14(水)~6/16(金)

午前午後共に各3組まで **要予約**
「ぶじかえる・交通安全お守り」
作りを一緒にやりましょう!!
♡パパへのメッセージと
足形を添えて♡



時の記念日制作(時計作り)

6/14(水)~6/16(金)
🕒 6月10日は時の記念日です。
時間の大切さを知り、お子さんと一緒に
楽しい時間を過ごしましょう。

感触あそび(寒天あそび)

6/9(金)・6/20(火)
色のついた寒天を触ったり、
つぶしたり...遊んでみましょう。
*寒天なので間違っても口に入れても大丈夫!!



乗馬体験 6/13(火)・6/27(火)

11:00頃 **要予約**
場所：桃原西公園(ひだまり認定こども園近く)
持ち物：人参スティック(細長い方があげやすいです)
「乗馬&エサやり体験」です。今年もお馬さんに触れ合って癒されましょう。「馬とのふれあい」は生き物への関心を高めるだけではなく、喜びと笑顔あふれる情緒豊かにする活動です。子どもに慣れている、やさしいお馬さん達です。愛らしいお馬さん達に癒されましょう♪

1	木	親子交流
2	金	親子交流
3	土	園庭開放
4	日	休園
5	月	身体測定
6	火	身体測定
7	水	身体測定
8	木	親子交流
9	金	感触遊び(寒天あそび)
10	土	園庭開放
11	日	休園
12	月	親子交流
13	火	乗馬体験
14	水	父の日/時の記念日制作
15	木	父の日/時の記念日制作
16	金	父の日/時の記念日制作
17	土	保育参観
18	日	休園
19	月	体育遊び
20	火	感触遊び(寒天あそび)
21	水	読み聞かせの日
22	木	親子交流
23	金	慰霊の日
24	土	園庭開放
25	日	休園
26	月	親子交流
27	火	乗馬体験
28	水	読み聞かせの日
29	木	お誕生会
30	金	親子交流

日程が変更になることもあります。

「へいわってなにかな。ぼくはかんがえた。」と始まるこの絵本は、2013年6月、当時、小学校1年生が書いた詩が「第23回 児童・生徒の平和メッセージ」で最優秀賞に選ばれたものです。

今月の23日は『慰霊の日』です。あらためて平和について、ふつうのこととは何かを絵本を通して、感じ、考えてみるのもいいですね。絵本の舞台は乗馬体験でお馴染み与那国馬の出身地、与那国島です。本土復帰50年目の沖縄。あなたはどうか過ごしますか?!

安里有生詩

長谷川義史画



☆☆☆ 0.1.2 歳児の… 心も体も満たされる心地よいことば体験 ☆☆☆

～誰かとことばを交わすことが、嬉しくて楽しく喜ばしいと感じるには、幼い頃からの心地よいことば体験が、大きく関わってきます。どんなことば体験がどのように子どもの心を育てていくのでしょうか?～



◇この時期に大切にしたいことば体験《乳幼児期にどんなことば体験があると、子どものコミュニケーション力が高まるのでしょうか》◇

0歳児の頃【目を合わせて語りかける機会を増やして】

大好きな人の声を聞いて、安心感や心地よさを感じることが大事な時期です。泣いたときに必ず反応をしてもらえることで、自分が大切にされていると感じ、相手に信頼感をもつように。泣いた際は「どうしたのかしら?」と目を合わせ語りかけ、お世話の際は「おむつが濡れて気持ち悪いのね、新しいのに替えようね」など、ことばをかけながら行いましょう。

1歳児の頃【子どもの気持ちを推測し、文章で表して】

自我が芽生え、ことばではまだ表せないけれども自己主張をするようになり、人との関わりを求めて、指をさしたり一語文で思いを伝え始めたりします。子どもが何を伝えたいのか、表情や動作からそれを読み取り、「お腹がすいたからまんまなのね」「わんわんが好きなのね」など推測して文章化することが、ことばの発達を促すこととなります。

2歳児の頃【思いが伝わる嬉しさから話す意欲がUP】

感情や動作を表す語彙もますます増え、1歳の終わりごろから二語文を話すように。記憶力やイマジネーションもさらに発達し、過去の経験やイメージしたことを誰かと共有したがります。伝わりにくいところは足りないことばを補ったり、イメージしたことが伝わっているとわかるように、葉っぱを受け取り「おせんべいありがとう!」などと話したりします。伝わる嬉しさを感じると、話す意欲も増していきます。

心とことばを育む子どもと大人の「聞く力」 現代社会は、日常的にたくさんの機会音にさらされ、人のことばを「聞く力」を育みにくい環境にあります。「ごはんにしましょうね」「とりさんが鳴いているね」といった語り掛けが、つけっ放しのテレビ音に交じって聞こえてきたりします。子どものことばの発達において大切にすべきは「聞く力」です。それは、子どもだけでなく、大人が子どもの思いを「聞く力」も含まれてます。生まれたばかりのあかちゃんは、視力よりも聴力が発達しており、全身を耳にして音を聞いています。授乳でお腹が満たされたときに「たくさん飲めたわね」とやさしく響く声に心地よさを感じたり、不安になって泣いたときに「どうしたのかしら?」と抱き上げられて安心したりします。そうした繰り返しかから、いつも世話をしてくれる保護者や保育者の声を覚え、語りかけられると喜びに満たされるようになるのです。まさに愛着の形成です。ことばは、一方的に語りかけるのではなく、心を通い合わせることが大切です。まだことばで話せない時期の子どもであれば、その心の声を聞いて、わかろうとすることが重要です。耳を傾けて聞くことは、語ることよりもはるかに偉大な愛のあかしなのです。

保育誌 PriPri 2022 5月号より

めくもり
理事 阿嘉よね子

さあ、ひだまりの里で
たくさんめくもり
感じてこようよ。
親子のめくもり、
友達のめくもり、
先生のめくもり、
地域のめくもり、
みつめてこよう。
そのめくもりが
明日からのあなたに
いっぱい元気をお
あたえてくれる

「ひだまりの里」の目的

子育て支援センター「ひだまりの里」は、妊娠中の方から子育て真っ最中のお母さん、お父さん、家族の方々が安心して楽しく子育てができるように支援する施設です。ご希望の方はどなたでもご利用できます。小さなお孫さんの世話をしている祖父母の方々もどうぞお気軽にお越しください。お母さんの笑顔は子育ての源。「すばらしい源」を共に作りませんか、お待ちしております。

「ひだまりの里」の保育料は?

子育て支援センター「ひだまりの里」は、国、県、町から認可をいただいて運営しておりまして、個人経営ではありません。どなたでも(町外の方も)無料でご利用できます。予約は必要ありません。(行事申し込みはお願いします) ***しばらくの間は完全予約制になっています。**行政の指導の下に、運営が成り立っております。

～ひとりで悩まないで～

- 子どもと向き合うことが、こんなにたのしいなんて!
- 子どもの排泄の自立(紙おむつの外し方)
- 食事面で悩んでいたのが、こんなに簡単に解決できるなんて!
- 親子でたくさんの友達をつくろう
- 子育てのストレスは親の成長だったんだということを知って、心が明るくなった

子育て支援センターひだまりの里を心のよりどころに。